

時遊人で聴く琵琶のしらべ

2020年
令和2年4月12日(日)
15時～17時頃(開場14時半)

【場所】喫茶店「時遊人」^{じゆうじん} 枚方市津田北町2-29-10
JR学研都市線「藤阪」駅より山側(右駐輪場側)へ約100m(津田高等学校前)

【料金】お一人様2,000円(ケーキセット付)★予約制(定員約25名様)



【演奏】筑前琵琶奏者 ^{ちくぜんびわ} 川村旭芳 ^{かわむらきよくほう}

【予定プログラム】

◆ 平家物語原文より「祇園精舎」 祇園精舎の鐘の聲 諸行無常の響あり…

◆ 源平盛衰記より「袈裟と盛遠」^{けさもりとお} 池田寿 作詞 / 二代柴田旭堂 作曲
平家物語のキーマンともいえる文覚上人の出家にまつわる挿話。
映画『地獄門』や、浪曲、創作オペラなどでも知られる壮絶な恋物語！

<ティータイム>

◆ 「青の洞門」～恩讐の彼方に～ 大坪草二郎 作詞 / 二世橋旭翁 作曲
青の洞門は、大分県中津市にある洞門(トンネル)。山国川に面してそそり立つ断崖絶壁に位置し、かつて命綱の鎖のみで結ばれた《鎖渡しの難所》と呼ばれた。
江戸時代中期の僧 禅海が、この危険な場所で通行人がたびたび命を落とすことに心を痛め、30年かけてノミと槌だけで洞門を掘ったと伝えられる。
琵琶曲「青の洞門」は、禅海和尚の偉業をモデルに創作された短編小説『恩讐の彼方に』(大正8年 菊池寛作)を基にした作品。
父の仇として禅海(俗名市九郎)を探し当てた中川実之助が、禅海和尚の大慈大悲に心打たれて掘削作業に協力し、遂には仇討の心を捨て、共に洞門開通の喜びを分かち合う物語。

【ご予約・お問い合わせ】

●「時遊人」川崎Tel:072-858-8157 ●平尾Tel:072-858-6156

